

1. <施策の概要>

基本理念	各種産業を育む活力あふれるまちづくり	統括課	事業部 産業振興課
基本方針	産業振興		
施策名	商工観光	関連課	
方針・目標等	◆商工業者育成による産業の活性化。 ◆観光入込客数増加による活性化。		
実施内容	◆商工会への運営助成による商工業者に対する経営支援。 ◆融資制度利用者に対する保証料・利子の補給。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 商業年間販売額	万円			商業統計(5年ごとの調査)			
②	○ 商業事業所数	か所			商業統計(5年ごとの調査)			
③	○ 製造品出荷額	万円			工業統計			
④	○ 製造事業所数	か所			工業統計			
⑤	観光入込客数	名			観光入込客数調査			
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		-	-	4,000,000	4,000,000	4,500,000	4,500,000
	実績		-	-	-	-		
②	目標		-	-	250	250	250	250
	実績		-	-	-	-		
③	目標		-	-	1,500,000	1,500,000	2,000,000	2,000,000
	実績		1,310,976	1,013,411	978,526	-		
④	目標		-	-	25	27	28	30
	実績		21	17	14	-		
⑤	目標		-	-	500,000	600,000	660,000	680,000
	実績		917,601	889,047	597,061	649,617		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・商業者数は増加しているが、一部の大型商業施設内に集中している。
 ・企業誘致に取り組んだ結果、以前と比較して製造品出荷額は増加傾向にあるが、平成21年度、平成22年度については景気低迷の影響により大幅に減少している。
 ・「花空間けいはんな」や「私のしごと館」の閉館で入込客が減少したが、近年においては各観光施設の努力により増加傾向に転じている。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・企業誘致の更なる促進により、地域経済の活性化を図る必要がある。
 ・保証料補給及び利子補給制度の継続により小規模・零細事業者の経営支援を図る必要がある。
 ・観光施設間の連携や観光モデルコースの設定、新たな観光資源の発掘などによって観光振興を図る必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	○ 産業振興課	-	11,574	11,163	11,428	11,428	11,428
	○ 商工会助成	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450
	一般事業 181	-	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450
2	○ 産業振興課	-	11,902	10,990	10,831	11,862	11,862
	○ 中小企業融資事業	9,483	8,358	7,485	7,504	8,535	8,535
	一般事業 181	-	8,358	7,485	7,504	8,535	8,535
3	○ 産業振興課	-	2,537	2,484	2,898	2,938	5,898
	○ 商工総務事務費	429	606	544	508	548	3,508
	一般事業 181	-	606	544	508	548	3,508
4	○ 産業振興課	-	1,955	2,165	2,045	2,135	2,135
	○ 商工業振興事務費	15	24	16	22	112	112
	一般事業 181	-	24	16	22	112	112
5	○ 産業振興課	-	2,823	3,118	2,912	2,873	4,078
	○ 観光事務費	303	86	171	234	195	1,400
	一般事業 183	-	86	171	234	195	1,400
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・相楽消費生活センターの開設により、消費生活トラブルについて常時相談できる環境が整備された。
- ・厳しい経済状況が続く中で、京都府の融資制度にかかる保証料・利子補給制度を実施することにより、中小零細企業の経営支援を図っている。
- ・観光パンフレットの作成・配布やホームページの観光情報の充実により、観光資源のPRに努めた。
- ・公益社団法人精華町シルバー人材センターの「ふるさと案内人」との連携や活動支援により、観光推進体制の整備促進を図った。
- ・狛田地区において、町北部地域の地域商業核の整備が課題となっている。

5. <施策の今後の方向性>

- ・中小零細企業の育成のため、商工会への助成や保証料・利子補給制度の経営支援を継続実施していく。
- ・観光施策について、関係機関と連携しながら、どのような仕掛けや企画などに取り組めるのか研究する。
- ・公益社団法人精華町シルバー人材センターの「ふるさと案内人」と連携を図り、お勧め情報や散策コースなどの紹介を行う。
- ・狛田駅東地区の土地区画整理事業の進捗に伴う商業施設の誘致について、必要な調整や支援を図る。